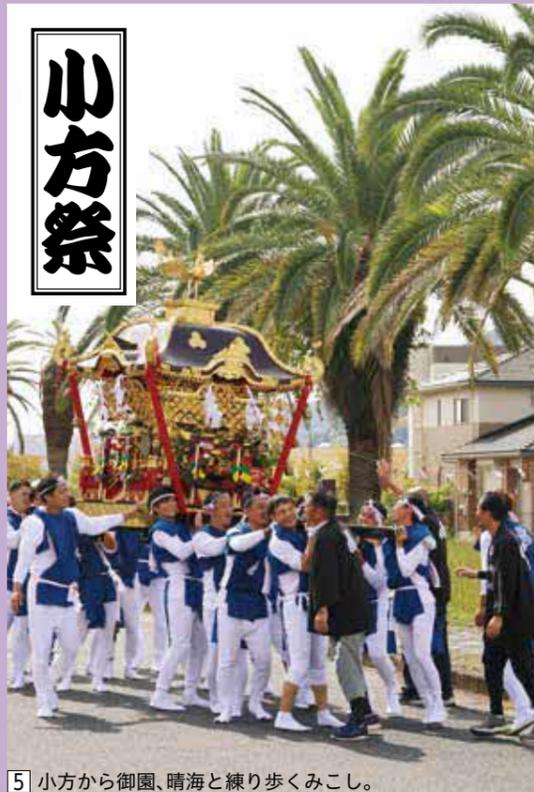


山方祭



5 小方から御園、晴海と練り歩くみこし。



3

2

1

10/6
SUN

みこしも復活、小方祭

小方・御園・晴海地区

9時半、小方祭の開始を告げる音花火ひや(が)上がり、厳神社の境内をやっこ行列が出発します。やっこは「忍び奴」と言われ、無言で毛槍を振りながら肅々と進んで行くのです。それに小学生たちが陣笠、羽織、はかま姿で、弓矢や鉄砲を担いで続きます。ここ数年、コロナ禍の影響で小・中学生の参加が見送られていましたが、ようやく本来の姿に戻ってきたようです。

行列は江戸時代に割庄屋だった和田家の長屋門前で、休息をとります。「大きなみこしが出るのも本場に久しぶりです。以前はこの先も家がありにぎやかでしたが、(右)大竹道路事業に伴う移転で寂しくなつたと少し残念そうな和田吉弘さんでした。



1 お目付けを先頭に忍び奴(巫女舞)を披露した4人(弓矢を携えた小学生たち)

4 中学生の獅子舞。



(上右)説明を聞いていざ採集へ(上左)何か捕まえたかな(下右)捕まえた生きものをじっくり観察(下左)協会職員の解説に興味津々。

9月28日『川の生きもの観察会』が行われ、36人が参加しました。県環境保健協会職員から川での探し方や注意事項などの説明を受けて玖島川へ。たも網でたくさんの魚や水生昆虫などを捕まえました。これまでの観察会では、見つけられなかったナマズの仲間の『ギギ』を捕まえ驚きの声があがります。採集した生きものは栗谷小学校で観察し、名前を調べたり、説明を受けたりして、玖島川がきれいな川であることを学びました。参加者からは「とても楽しかった」「次はもっと捕まいたい」などの声があがり、大満足の観察会でした。



(上)全身で表現(下右)観客席横の花道でダンス(下左)終演後に記念撮影。



10月5日 市制施行70周年記念事業として「玖波公民館学びのカフェ」と「ジュニアリーダー育成事業ドリーム講座」の合同企画、「三宅由利子さんトーク&パフォーマンス」が玖波公民館で行われました。このイベントは、三宅さんのダンスから始まり、人気ミュージカルの歌唱や笑いを交えながらのトークなど、会場は大いに盛り上がりました。初めてパフォーマンスを見た島本雅枝さん(広島市)は「三宅さんの地元を大切にしている思いと皆さんがその思いを受け入れていることが伝わってきて、とても素敵なイベントでした」と感動しているようでした。



3



2



1

10/13
SUN

気温も熱気も上昇中

玖波地区

日差しがまぶしい秋の空。正午に大歳神社を出発。市指定重要文化財の『玖波宿本陣陣入奴』が、陰陽と交じり陰陽が舐め舐めと掛け声も勇ましく町内を進みます。やっこの見せ場は、要所で行われる「振込み」。一組ずつ宿場の本陣に入っていく豪快な様子を再現したものです。旗持ちの古村楓さん(玖波中2)は「地域の人が声を掛けてくれるのがうれしい。来年もやりたい」と意気込みます。みこしを担いだ父親の古村勇樹さんは「娘が楽しそうにしている」と頬を緩ませます。古村さんは親子三代で参加しているお祭り一家です。気温も行列の熱気も上昇の祭りでした。

1 健康・長寿を願って獅子が、咬み(最後尾)の鬼の袋には、子どもたちに配るおもちゃがいっぱい(白壁のうだつの町を行くみこし)

4 20kgの豪快な大奴(中学生たちの旗持ち)

6 出発前大竹一番太鼓で盛り上げ。

玖波祭



4



5



6



10月15日 玖波まちづくり振興会が、市制70周年記念市民提案事業として『歴史の扉』を発行しました。玖波地区で配布されている広報紙『くぼCOMひろば』で連載した玖波の歴史を一冊にまとめ、伊藤信子さんが描き起こした地図とセットにしたものです。制作に携わった方4人が玖波中学校の朝会で生徒にその思いを伝えました。挿絵を描いた長澤靖さんは「当時はどんな服装や町並みだったかわからないことがいっぱい出ます。皆さんも疑問を見つけて調べることで知識的な活動が広がることを期待しています」と話しました。



(上右)生徒を前に話す長澤さん(上左)地図「わが町の自慢どころ」を描いた伊藤さん(中)・(左)冊子は11月24日(日)の「日曜くぼマルシェ」で配布予定。



10月6日 市制施行70周年&作家石本美由起生誕100年と銘打ってアゼリアホールで開催された『二階堂和美におおたけ吹奏楽団specialコンサート』は、立ち見も出るほどの盛況ぶり。健康マイスターの皆さんの健康体操の振り付けで『大竹で生きている』を熱唱すると一気に盛り上がり。大竹市出身の石本さんの代表曲の数々や二階堂さんのオリジナル曲を披露。コンサートは最高潮に達します。観客の小田弘美さん(南栄)は「手が真っ赤になるほどの拍手をしました。大竹が一つになったみたい」と感動冷めやらぬようでした。